

令和5年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和5年11月25日（土）14時～14時45分
- 開催場所 近隣センターふさの風
- 参加者 市民：若干名
- 出席者 星野市長、山元企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、篠崎建設部長、中場都市部長、担当課長等12名

市民：現在、まちづくり協議会のメンバーが少なくなっています。どこの地域も同じだと思います。そこで、お聞きします。市役所のOBにまちづくり協議会や町会の役員になってはいけないという縛りがありますか。なってくれてもすぐにやめてしまう方が多いと感じています。

市長：縛りはありません。現職でもPTA役員や、自治会の役員になっている方もおります。

退職すると民生委員や人権擁護委員等に職員を要望する声もありますが、中々なり手がいない状況です。企画総務部長が来ていますので、退職する際に、声掛けをしていきたいと思います。

若手の職員が市の職員となった際には、消防団や、青少年相談員になるように声をかけており、それ以外でもスポーツ少年団など、地域の力になるように声をかけております。

また、定年後は地区社協や民生委員になってもらうように声かけをしています。今後は、そこにまちづくり協議会も加えていきたいと思います。

市民：自分は民生委員をやっている。退職時に市長が声をかけて頑張ってくれていると思っている。

市長：ありがとうございます。職員は、退職後に一つぐらい地域の事を行ってほしいと思っています。引き続き声掛けをしていきたいと思います。